

請 願 文 書 表
(令和6年第1回定例会)

請 願 第 3 号	令和6年2月20日受理
付 託 委 員 会	福祉常任委員会
件 名	補聴器購入（加齢性難聴者）助成制度の創設を求める請願
紹 介 議 員	高 山 敏 朗 議員 三 田 登 議員 堀 口 明 子 議員
請 願 要 旨	<p>日頃より、市民の安心・安全のために奮闘されていることに、心より感謝申し上げます。</p> <p>八千代生活と健康を守る会は、昨年6月議会、9月議会、12月議会と連続して、加齢性難聴者への助成制度を求める請願を提出しましたが採択されず、しかも何故か不採択としたのかの理由も意見も示されませんでした。</p> <p>高齢者の難聴は単に「聞こえない」というだけでなく、他者とのコミュニケーションが困難になり、社会からの孤立を招きます。その結果として、認知機能が衰えていくと考えられています。</p> <p>ある方は、「相手の声が聞き取りにくく、エッと聞き返すことが多く、人と話すのが苦痛になる」と話してくれました。</p> <p>日本では約1,900万人の難聴者がいますが、補聴器を使用している人は18%に過ぎません。物価高騰のなか、補聴器を購入しようとしても購入に至らず、日常生活に困難を抱えている方からの相談も寄せられています。</p> <p>補聴器購入費用を助成し、自分に合った補聴器を使用できるようにすることは、高齢者一人ひとりの生活の質を保証するうえでも、認知症予防・介護予防という意味でも非常に重要だと思います。</p> <p>千葉県内では、浦安市、船橋市、印西市、鎌ヶ谷市など4市で実施されています。昨年12月議会には、他の団体から1,000名を超える署名が寄せられたのに、この声に耳を傾けることなく、不採択となってしまいました。</p> <p>財政力指数県内9番目の八千代市が、わずか数百万円の財源を確保できないわけではないと思います。補聴器購入にあたり市の助成制度が実現するよう、市議会からのバックアップをよろしくお願いします。</p> <p><請願要旨></p> <p>加齢性難聴者の補聴器購入に市の助成制度の創設を実現してください。</p>